第45回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優　勝　野菊野・八柱連合

準優勝　南部ルーキーズ

第三位　三郷スターズ

第四位　松葉ニューセラミックス



開催期間　　令和7年11月～令和8年2月

主　催　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会

後　援　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
株式会社カリフ・柏食品株式会社
マルエス株式会社・株式会社コントリビュート
流山クラブボーイズ・ＮＥＲ企画

旬をつくる、カリフの麺。



株式会社カリフ
柏市旭4-11-8
☎04-7147-9691

第45回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

目　次

伝統ある二本の優勝旗と優勝盃（写真）・・・・・・・・・・・・・・ 1

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球決勝大会　成績表・・・・・・ 2

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　概評・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム及び大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・・・ 5

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

新聞掲載記事（3月20日号）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム・・・・・・・ 28

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3・・・・・・・・ 29

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項（令和5年一部改正）・・・ 31

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（令和4年12月一部改正）・・ 34

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告・・・・・・・・ 35

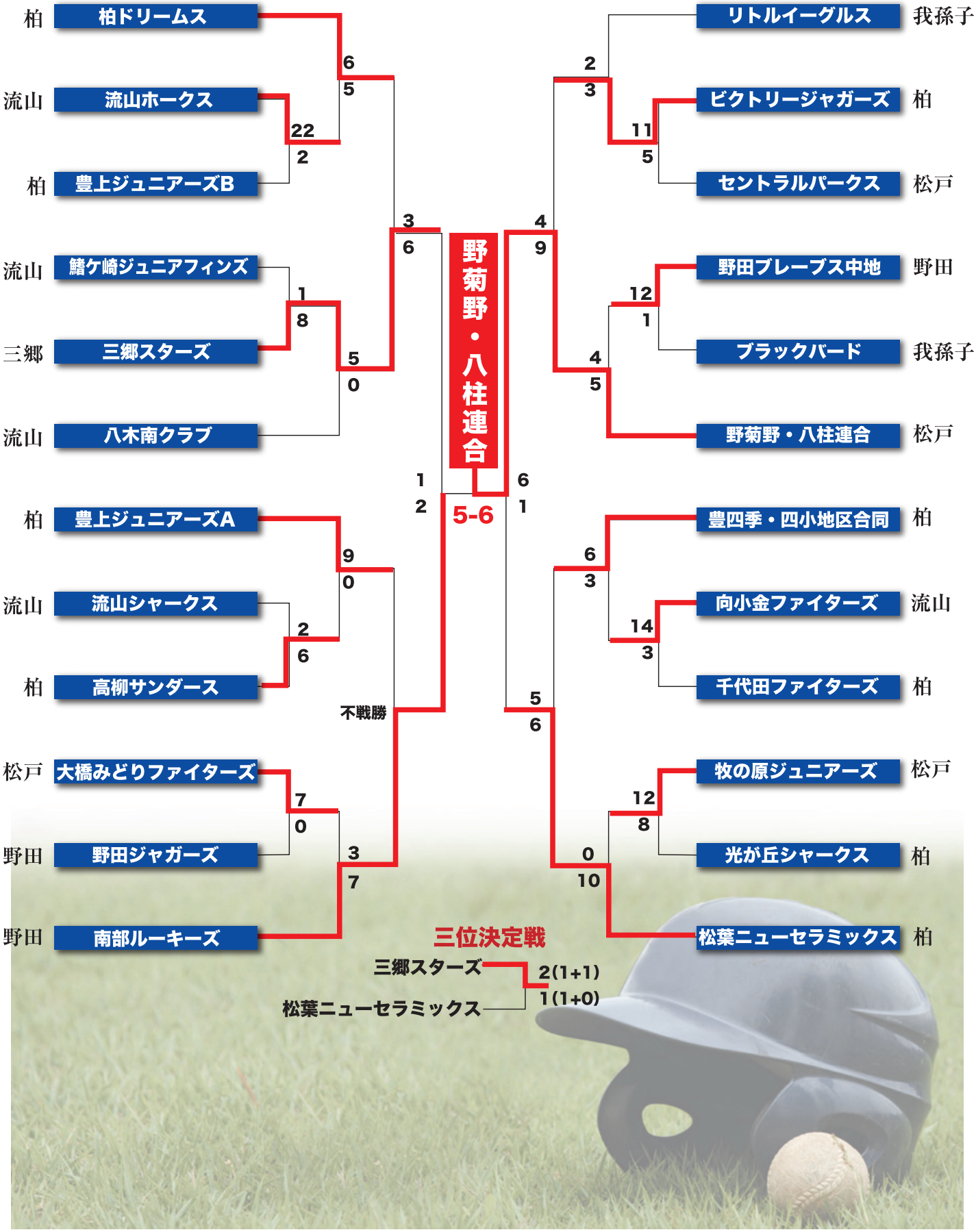
※写真提供は、NER企画及び決勝大会進出4チーム




カリフ杯少年野球大会
優勝
寄贈 松崎公昭


優勝 千代田ファイターズ
平成二十三年第三回優勝

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球
決勝大会成績表



★★決勝大会概評★★

野菊野・八柱連合が大逆転で劇的優勝

南部ルーキーズが準Ｖ　三位は三郷スターズがタイブレークで獲得

第４５回カリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会は、総数７０チームが参加して１２ブロックに分かれてリーグ戦を行い、そのうちの各ブロックの上位２チーム、合計２４チームによって 令和８年２月７日（土）と１４日（土）２２日（日）の三日間にわたって野田河川敷グランドに於いて決勝大会が行われた。

今年度の決勝大会は、出場した２４チームのうち、初日の８試合で勝利したのが、ブロックリーグ戦で首位だった三郷スターズだけで、何と７チームがブロックリーグ戦の２位チームだった。ちなみに、初日に勝利したチームは、上記した三郷スターズと、流山ホークス、高柳サンダース、大橋みどりファィターズ、ビクトリージャガーズ、向小金ファイターズ、牧の原ジュニアーズの各チーム。

続く二日目は、初日に勝利したチームが 初戦がシード山だった８チームと対戦したが、この日もブロック２位通過のチームが５チーム勝ち上ってベスト８に進出した。この日勝ち上がったチームは、ブロックリーグ戦首位で出場して来たチームでは三郷スターズ、豊上ジニアーズＡ、柏ドリームスだけで、ほかの５チーム（南部ルーキーズ、ビクトリージャガーズ、野菊野・八柱連合、豊四季・四小地区合同、松葉ニューセラミックス）はブロックリーグ戦２位通過のチームだった。

この状態はブロック首位と２位チームの実力差が殆どなく、決勝大会に進出したチームは全体的にチーム力が上がってきたことを物語っている。

大会は初日こそワンサイドゲームが多かったが、二日以降は接戦が多く充実した内容の試合が多発してきた。

大会三日目は二日目に勝ち上がった８チームによって準々決勝戦の３試合が行われたが、豊上ジュニアーズＡが都合で棄権したため、南部ルーキーズが不戦勝したほかは、全て緊迫した接戦で見ごたえがあった。その中では豊四季・四小地区合同 vs 松葉ニューセラミックスの柏勢対決が１点を争う白熱戦で最後まで緊張感が抜けない好試合だった。

かくして最終日（２月２２日）は前週に勝利してベスト４に進出した三郷スターズ、南部ルーキーズ、野菊野・八柱連合、松葉ニューセラミックスによって準決勝戦と決勝戦、三位決定戦が行われた。

午前中に行われた準決勝戦の２試合は野田河川敷グランドＣ面とＤ面で同時開催した。このうちＣ面で行われた松葉ニューセラミックス vs 野菊野・八柱連合戦は、初回に松葉が１点を先制すれば、野菊野がその裏２点を奪って逆転、以降３回までは両チーム得点なく互角の戦いが続いたが、４回と５回に野菊野が決定的な追加点を挙げて勝利した。

南部ルーキーズ vs 三郷スターズ戦は１点を争う痺れるような大接戦となった。２回に両チームが１点ずつ取り合った展開は、３回に南部が１点を挙げて僅差のリードを奪ったものの、その後両チームとも得点が入らず、結局そのままゴールインして南部の勝利に終わった。

午後から開催した決勝戦と三位決定戦もＣ面とＤ面で同時に行われた。Ｃ面で行われた松葉ニューセラミックス vs 三郷スターズの三位決定戦は素晴らしい内容で、今大会のベストゲームとなった。初回に三郷が１点を先制すれば、松葉も負けずに２回に１点を還して１－１の同点のまま最終回を迎えた。しかしここでも決着はつかず結局タイブレークとなり、三郷が特別回に１点を挙げてサヨナラ勝ちしたのは見事だった。同チームは準決勝戦でも緊迫した接戦を行っているだけに、そのチーム力は安定していてかなり高いと思われる。

野菊野・八柱連合 vs 南部ルーキーズの決勝戦は、野菊野が逆転勝ちして素晴らしいドラマを演出した。序盤の２回までは南部が３点を挙げて試合の主導権を握っていたが、野菊野が２回に１点を挙げてから、徐々に勢いを加速させて反撃に転じた。そして４回に南部に１点を追加されて３点差に広げられたその裏、打線が爆発して一気に４点を奪って逆転に成功した。これはまさに劇的でこの回の得点で栄冠を獲得したのは見事と言うほかない。改めて選手たちの健闘に対して賞賛の拍手を贈りたい。

以下、準決勝戦からの成績を記す。

◆準決勝戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グランドＣ面

松葉ニューセラミックス	１	０	０	０	０	０	＝	１
野菊野・八柱連合	２	０	０	１	３	Ｘ	＝	６

◆準決勝戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グラントＤ面

南部ルーキーズ	０	１	１	０	０	０	＝	２
三郷スターズ	０	１	０	０	０	０	＝	１

◆三位決定戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グランドＤ面

松葉ニューセラミックス	０	１	０	０	０	０	⑦	＝	１
三郷スターズ	１	０	１	０	０	０	①Ｘ	＝	２

◆決勝戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グランドＣ面

南部ルーキーズ	２	１	０	１	１	０	＝	５
野菊野・八柱連合	０	１	０	４	１	Ｘ	＝	６







優勝　野菊野・八柱連合



準優勝　南部ルーキーズ



第三位　三郷スターズ



第四位　松葉ニューセラミックス

熱戦







スナップ!














NATSUBA








BSO




CHIBA




30




Stars




Team


Nagikuno

優勝 野菊野・八柱連合





受賞スナップ











準優勝
南部ルーキーズ









第三位
三郷スターズ







第四位
松葉
ニューセラミックス



ブロックリーグ戦　勝敗表

Ablock

順位		光ケ丘シャークス	松葉ニューセラミックス	松戸KSカージナルス	三郷ヤンガーズ	初石クーガーズ	柳沢ロッキーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	光ケ丘シャークス（柏）		○ 9−6	○ 6−4	○ 12−2	○ 9−1	○ 16−0	5	5	0	0	10	52	13	39
2	松葉ニューセラミックス（柏）	● 6−9		○ 20−2	○ 11−0	○ 5−0	○ 14−0	5	4	1	0	8	56	11	45
3	松戸KSカージナルス（松戸）	● 4−6	● 2−20		○ 16−0	○ 2−0	○ 18−5	5	2	2	1	6	42	31	11
4	三郷ヤンガース（三郷）	● 2−12	● 0−11	● 0−16		○ 8−3	○ 5−0	5	2	3	0	4	15	42	△27
5	初石クーガーズ（流山）	● 1−9	● 0−5	● 0−2	● 3−8		○ 5−5	5	0	4	1	1	9	29	△20
6	柳沢ロッキーズ（野田）	● 0−16	● 0−14	● 5−18	● 0−5	● 5−5		5	0	4	1	1	10	58	△48

Bblock

順位		豊四季・四小地区合同	流山シャークス	新和ヴィクトリー	常盤平ボーイズ	大船コンドルズ	野田ドンキーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊四季・四小地区合同（柏）		○ 6−3	○ 1−0	● 2−5	○ 16−5	○ 11−1	5	4	1	0	8	36	14	22
2	流山シャークス（流山）	● 3−6		○ 7−4	○ 9−6	○ 15−3	○ 6−4	5	4	1	0	8	40	23	17
3	新和ヴィクトリー（三郷）	● 0−1	● 4−7		○ 6−3	○ 12−10	○ 6−0	5	3	2	0	6	28	21	7
4	常盤平ボーイズ（松戸）	○ 5−2	● 6−9	● 3−6		○ 9−8	○ 24−0	5	3	2	1	6	47	25	22
5	大船コンドルズ（柏）	● 5−16	● 3−15	● 10−12	● 8−9		○ 5−3	5	1	4	1	2	31	55	△24
6	野田ドンキーズ（野田）	● 1−11	● 4−6	● 0−6	● 0−24	● 3−5		5	0	5	0	0	8	52	△44

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		三郷スターズ	野田ブレーブス中地	五香メッツ	新柏ツインズ	前ヶ崎クラブ	若草	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	三郷スターズ（三郷）		○ 10−2	○ 6−0	○ 8−1	○ 3−0	○ 22−0	5	5	0	0	10	49	3	46
2	野田ブレーブス中地（野田）	● 2−10		○ 9−3	○ 14−3	○ 16−4	○ 17−2	5	4	1	0	8	58	22	36
3	五香メッツ（松戸）	● 0−6	● 3−9		○ 5−1	○ 9−3	○ 10−0	5	3	2	0	6	27	19	8
4	新柏ツインズ（柏）	● 1−8	● 3−14	● 1−5		○ 9−7	○ 15−5	5	2	3	0	4	29	39	△10
5	前ヶ崎クラブ（流山）	● 0−3	● 4−16	● 3−9	● 7−9		○ 7−6	5	1	4	0	2	21	43	△22
6	若草（柏）	● 0−22	● 2−17	● 0−10	● 2−10	● 6−7		5	0	5	0	0	13	71	△58

D block

順位		千代田ファイターズ	大橋みどりファイターズ	加岸ベアーズ	中根ヤンキース	加賀シャトルズ	白山クラブ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	千代田ファイターズ（柏）		○ 8−7	○ 7−4	○ 18−1	○ 16−1	○ 18−0	5	5	1	0	10	67	13	54
2	大橋みどりファイターズ（松戸）	● 7−8		○ 25−1	○ 18−0	○ 25−1	○ 18−0	5	4	1	0	8	78	9	69
3	加岸ベアーズ（流山）	● 4−7	● 1−25		○ 10−7	○ 18−0	○ 10−3	5	3	2	1	5	42	27	15
4	中根ヤンキース（野田）	● 1−18	● 0−18	● 7−10		○ 6−5	● 3−5	5	2	3	0	4	17	56	△39
5	加賀シャトルズ（柏）	● 1−16	● 1−25	● 0−18	● 5−6		○ 17−4	5	1	3	1	3	24	69	△45
6	白山クラブ（我孫子）	● 0−18	● 0−18	● 3−10	○ 5−3	● 4−17		5	0	5	0	0	12	66	△54

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		豊上ジュニアーズA	向小金ファィターズ	平川レッドスターズ	長崎FLB	増尾レッドスターズ	根木内ヤングスターズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズA（柏）		○ 13−1	○ 13−0	○ 10−2	○ 17−0	○ 12−0	5	5	0	0	10	65	3	62
2	向小金ファィターズ（流山）	● 1−13		○ 4−1	○ 7−4	○ 12−2	● 3−6	5	3	2	0	6	27	26	1
3	平川レッドスターズ（市川）	● 0−13	● 1−4		○ 3−1	○ 4−1	○ 7−6	5	3	2	0	6	15	25	△15
4	長崎FLB（流山）	● 2−10	● 4−7	● 1−3		○ 9−1	○ 8−3	5	2	3	0	4	24	24	0
5	増尾レッドスターズ（柏）	● 0−17	● 2−12	● 1−4	● 1−9		○ 8−6	5	1	4	0	2	12	48	△36
6	根木内ヤングスターズ（松戸）	● 0−12	○ 6−3	● 6−7	● 3−8	● 6−8		5	0	5	0	0	21	38	△17

F block

順位		豊上ジュニアーズB	牧の原シュニアーズ	南流ファィターズ	新木野コンドル	江戸川台フェニックス	北柏スーパーナイン	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズB（柏）		○ 5−1	○ 11−4	○ 6−5	○ 14−2	○ 23−3	5	5	0	0	10	59	18	41
2	牧の原ジュニアーズ（松戸）	● 1−5		○ 6−5	○ 6−2	○ 14−2	○ 34−0	5	4	1	0	8	64	14	50
3	南流ファイターズ（流山）	● 4−11	● 5−6		○ 15−2	○ 17−0	○ 28−1	5	3	2	0	6	69	20	49
4	新木野コンドル（我孫子）	● 5−6	● 2−6	● 2−15		○ 5−2	○ 27−0	5	1	4	0	2	39	53	△14
5	江戸川台フェニックス（流山）	● 2−14	● 2−14	● 0−17	● 2−5		○ 5−0	5	1	4	0	2	11	50	△39
6	北柏スーパーナイン（柏）	● 3−23	● 0−34	● 1−28	● 0−27	● 0−5		5	0	5	9	0	4	117	△113

ブロックリーグ戦　勝敗表

G block

順位		高柳サンダース	野菊野・八柱連合	沼南ファイヤーズ	流山ホークスB	みさと団地ライオンズ	小田急ライオンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	高柳サンダース（柏）		○ 5−3	○ 8−2	○ 14−0	○ 18−0	○ 12−1	5	5	0	0	10	57	6	51
2	野菊野・八柱連合（松戸）	● 3−5		○ 14−2	○ 8−0	○ 10−0	○ 16−1	5	4	1	0	8	51	8	43
3	沼南ファイヤーズ（柏）	● 2−8	● 2−14		○ 8−6	○ 9−5	○ 10−9	5	3	2	0	6	31	42	△11
4	流山ホークスB（流山）	● 0−14	● 0−8	● 6−8		○ 13−4	○ 11^0	5	2	3	0	4	11	35	△24
5	みさと団地ライオンズ（三郷）	● 0−18	● 0−10	● 5−9	● 4−13		○ 14−6	5	1	4	0	2	23	56	△33
6	小田急ライオンズ（流山）	● 1−12	● 1−16	● 9−10	● 0−11	● 6−14		5	0	4	0	0	17	63	△46

H block

順位		ブラックバード	流山ホークスAQ	東深井ボーイズ	酒井根東グリーンズ	柏ヤンガーズ	矢切コンドルズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ブラックバード（我孫子）		○ 5−4	○ 4−3	○ 7−5	○ 6−4	● 5−7	5	4	1	0	8	27	23	4
2	流山ホークスA（流山）	● 4−5		○ 9−1	○ 12−1	○ 12−0	○ 12−1	5	4	1	0	8	49	8	41
3	東深井ボーイズ（流山）	● 3−4	● 1−9		● 5−12	○ 8−5	○ 16−4	5	2	3	0	4	33	34	△1
4	酒井根東グリーンズ（柏）	● 5−7	● 1−12	○ 12−5		● 6−9	○ 9−2	5	2	3	0	4	33	35	△2
5	柏ヤンガーズ（柏）	● 4−6	● 0−12	● 5−8	○ 9−6		○ 12−7	5	2	3	0	4	30	39	△9
6	矢切コンドルズ（松戸）	○ 7−5	● 1−12	● 4−16	● 2−9	● 7−12		5	1	4	0	0	21	54	△33

ブロックリーグ戦　勝敗表

I block

順位		柏ドリームス	鰭ヶ崎ジュニアフインズ	リトルキング	流山マリーンズ	柏ボーイング	新松戸リトルベァーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	柏ドリームス（柏）		○ 7−1	○ 11−0	○ 5−3	○ 16−0	○ 12−2	5	5	0	0	10	51	6	45
2	鰭ヶ崎ジュニアフインズ（流山）	● 1−7		○ 13−4	○ 7−3	○ 9−8	○ 14−0	5	4	1	0	8	44	22	22
3	リトルキング（我孫子）	● 0−11	● 4−13		○ 6−4	○ 14−2	● 5−8	5	2	3	0	4	29	38	△9
4	流山マリーンズ（流山）	● 3−5	● 3−7	● 4−6		○ 6−5	○ 8−5	5	2	3	0	4	24	28	△4
5	柏ボーイング（柏）	● 0−16	● 8−9	● 2−14	● 5−6		○ 16−8	5	1	4	0	2	31	53	△22
6	新松戸リトルベァーズ（松戸）	● 2−12	● 0−14	○ 6−8	● 6−8	● 8−16		5	1	4	0	2	23	55	△32

J block

順位		リトルイーグルス	南部ルーキーズ	カージナルス	柏ドリームスA	高塚新田ラークス	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	リトルイーグルス（我孫子）		○ 8−3	● 0−4	○ 9−3	○ 10−2	○ 22−4	5	4	1	0	8	49	16	33
2	南部ルーキーズ（野田）	● 3−8		○ 5−4	○ 13−0	○ 5−1	○ 27−1	5	4	1	0	8	53	14	39
3	カージナルス（流山）	○ 4−0	● 4−5		△ 6−6	● 2−3	○ 17−1	5	2	2	1	5	33	15	18
4	柏ドリームスA（流山）	● 3−9	● 0−13	△ 6−6		○ 13−2	○ 18−1	5	2	2	1	5	40	31	9
5	高塚新田ラークス（松戸）	● 2−10	● 1−5	○ 3−2	● 2−13		○ 19−2	5	2	3	0	4	27	32	△5
6	GBC流山（流山）	● 4−22	● 1−27	● 1−17	● 1−18	● 2−19		5	0	5	0	0	9	103	△94

ブロックリーグ戦　勝敗表

Kblock

順位		野田ジャガーズ	ビクトリージャガーズ	小金原ビクトリー	ありんこアントス	柏南ギャランツ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	野田ジャガーズ（野田）		○ 8−4	○ 9−5	● 5−6	○ 17−0	4	3	1	0	6	39	15	24
2	ビクトリージャガーズ（柏）	● 4−8		○ 6−3	○ 15−0	○ 9−3	4	3	1	0	6	34	14	20
3	小金原ビクトリー（松戸）	● 5−9	● 3−5		○ 14−6	○ 14−2	4	2	2	0	4	36	23	13
4	ありんこアントス（流山）	○ 6−5	● 0−15	● 6−14		○ 6−5	4	2	2	0	4	18	39	△24
5	柏南ギャランツ（柏）	● 0−17	● 3−9	● 2−14	● 5−6		4	0	4	0	0	10	46	△36

Lblock

順位		セントラルパークス	八木南クラブ	スーパーフェニックス	沼南フラワーズ	清水タイガース	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	セントラルパークス（松戸）		○ 4−3	○ 8−2	● 5−9	○ 3−2	4	3	1	0	6	20	16	4
2	八木南クラブ（流山）	● 3−4		○ 14−7	○ 6−3	○ 3−0	4	3	1	0	6	26	14	12
3	スーパーフェニックス（柏）	● 2−8	● 7−14		○ 8−5	○ 12−3	4	2	2	0	4	29	30	△1
4	沼南フラワーズ（柏）	○ 9−5	● 3−6	● 5−8		○ 10−6	4	2	2	0	4	27	25	2
5	清水タイガース（野田）	● 2−3	● 0−3	● 3−12	● 6−10		4	0	0	0	0	11	28	△17

★ブロックリーグ戦 概評★

◆Ａブロック

最終的には勝ち星一つの差で順位は順当に決まったものの、実際は光ケ丘シャークス、松葉ニューセラミックス、松戸ＫＳカージナルスの３チームによる熾烈な争いがメインだった。５戦全勝で首位となった光ケ丘シャークスは、下位チームには確実に勝利したものの、松葉ニューセラミックスと松戸ＫＳカージナルスとの対戦で、僅差で勝利したのが大きかった。

この結果、２位争いは松葉ニューセラミックスが光ケ丘シャークスには惜敗したが、松戸ＫＳカージナルスに大勝して４勝１敗の成績で決めた。

松戸ＫＳカージナルスは３勝はしたものの、松葉ニューセラミックスに敗れたがの致命傷となって、決勝大会進出のチャンスを逸した。

◆Ｂブロック

豊四季・四小地区合同と、流山シャークス、新和ヴィクトリーの３チームで熾烈な首位争いを繰り広げた。最終的には常盤平ボーイズには敗れたものの、その他の４試合に勝利した豊四季・四小地区合同が４勝１敗の成績で首位となった。

流山シャークスは４勝１敗で豊四季・四小地区合同とは同成績だったが、同チームとの直接対決で敗れているため、順位は２位となった。以上の２チームが決勝大会の進出権を獲得した。

惜しかったのは３勝２敗で３位となった新和ヴィクトリーで、上位２チーに敗れたうち、首位の豊四季・四小地区合同には０－１の惜敗だっただけに、この敗戦が痛恨だった。

なお、３勝２敗で新和ヴィクトリーと同成績となった常盤平ボーイズは、同チームとの直接対決で敗れていたため、順位は下位で４位となった。

以上の４チームの実力はほぼ互角とみられ、このブロックのリーグ戦は最高に盛り上がった。

◆Ｃブロック

三郷スターズと野田ブレーブス中地のマッチレースに終わった感じのブロック。この２チームの実力が抜けており、直接対決では三郷スターズが大勝して５戦全勝で首位となったが、野田ブレーブス中地もほかの４試合には確実に勝利したことで、決勝大会進出はこの２チームで順当に決定した。

３位五香メッツ以下は、勝ち星一つの差で順位が決定したが、こちらも波乱はなく概ね順当な結果に終わった。

◆Ｄブロック

千代田ファィターズ、大橋みどりファィターズ、加岸ベァーズの上位３チームが終盤まで星の潰しあいを演じて順位を争った結果、千代田ファイターズが５戦全勝で首位、千代田ファィターズに

惜敗した大橋みどりファイターズが４勝１敗の成績で２位となった。

３勝２敗で３位となった加岸ベァーズは、３勝は全て１０点以上を挙げたものの、上位２チームには完敗して決勝大会への進出権獲得が出来なかった。

中根ヤンキース以下の３チームは、揃って１勝４敗の同成績、しかも三つ巴で並んだため、順位は得失点差での決着となり、中根ヤンキースが４位、加賀シャトルズが５位、白山クラブが６位となった。この３チームの争いは、決勝大会進出を争うのとは別の次元で活気が見られた。

◆Ｅブロック

豊上ジュニアーズＡの実力が突出していて、６戦文句なしの大勝で首位を独走した。ちなみに、同チームが５試合で挙げた総得点６５点（１試合平均１３点）は、リーグ戦全体では３番目に多い記録で、総失点３点はＧブロックの三郷スターズと並んでリーグ戦全体での最少記録。

２位争いは向小金ファイターズと平川レッドスターズの２チームで激戦を展開した。両チームとも豊上ジュニアーズＡには大敗したが、直接対決では緊迫した接戦を演じた。とくに下位の根木内ヤングスターズに敗れて後がなくなった向小金ファイターズは、この一番での勝負で奮張って勝利し３勝２敗で２位となり、辛くも決勝大会の進出権を獲得した。

逆に向小金ファイターズに敗れた平川レッドスターズは、３勝２敗で向小金ファィターズとは同成績ながら、直接対決で敗れたため順位は３位となって、決勝大会の進出権を逸した。

４位長崎ＦＬＢ以下の順位争いも活発だったが、増尾レッドスターズと根木内ヤングスターズはともに１勝４敗ながら、順位は対戦で勝利している増尾レッドスターズが上位（５位）となった。

◆Ｆブロック

豊上ジュニアーズＢも強かった。下位の新木野コンドルには苦戦して接戦勝ちだったが、その他の４試合には大勝して５戦全勝で首位を獲得した。

２位争いは熾烈で、豊上ジュニアーズＢにはともに敗れた牧の原ジュニアーズと南流ファィターズが、最終的には直接対決で決着を決めることとなった。結果は１点差の大接戦を展開した末牧の原ジュニアーズが勝利して確保したが、敗れた南流ファィターズは、他の３試合には大差勝ちして決勝大会進出のチャンスが高かっただけに、この敗戦で夢（決勝大会進出権）敗れたのは残念だった。なお、同チームが５試合で挙げた総得点６９点（１試合平均１３、８点）はリーグ戦全体での最高記録。

◆Ｇブロック

高柳サンダースが５戦全勝で首位を独走した。４勝１敗で２位となった野菊野・八柱連合戦こそ接戦勝ちだったが、その他の４試合は安定した内容で確実に勝利して隙を見せなかった。５試合での総得点５７点（１試合平均１１，４点）と、総失点６点（１試合平均１，２点)がそれを物語っている。

高柳サンダースには僅差で敗れたが、４勝１敗で２位となった野菊野・八柱連合も安定した戦いぶりで、このブロックは実質的にはこの２チームでのマッチレースだった。

沼南ファイヤーズは３勝２敗で３位となったものの、上位２チームと比べるとやや実力差があった感じ。上位２チームの壁を敗れなかったため、決勝大会進出争いには加われなかった。

４位流山ホークスＢ以下は勝ち星の差一つで順位が決定した。

◆Hブロック

２位までの決勝大会進出権争いは、最終的にはブラックバードと流山ホークスの２チームがともに４勝１敗の同成績で順当に確保したが、流山ホークスとの直接対決で勝利したフラックバードは首位となったものの、唯一敗れた相手が最下位の矢切コンドルズだったのは珍しいケース。

２位となった流山ホークスは、４勝の内容が全て余裕の大勝だったが、首位のブラックバードには１点差の惜敗だった。

東深井ボーイズ、酒井根東グリーンズ、柏ヤンガーズの３チームは、揃って２勝３敗の同成績でしかも三つ巴となったため、順位は得失点差での決着となり、僅差で東深井ボーイズが３位、酒井根東グリーンズが４位、柏ヤンガーズが５位となった。なお、この３チームによる順位争いは上位２チームの決勝大会進出権争いとは別の次元で、激戦を展開してかなり盛り上がった。

１勝４敗で最下位となった矢切コンドルズは、唯一の勝ち星が首位となったブラックバードからたったのは珍しいケース。

◆Ｉブロック

このブロックも柏ドリームスと鰭ヶ崎ジュニアフインズの２チームで順当に首位と２位が決定したが、３位以下の各チームは、決勝大会への進出をめぐる戦いとは関係なく、星の潰しあいを演じながら、最後まで活気ある試合をみせた。

上位２チームでは、５戦全勝の和ドリームスの安定した戦いぶりが目立ったが、２位となった鰭ヶ崎ジュニアフインズは、柏ドリームスには完敗したものの、その他の４試合を手堅く勝利したのが良かった。

３位以下の試合では、まず３位はリトルキングと流山マリーンズがともに２勝３敗で同成績となったが、順位は対戦で勝っているリトルキングが上位。さらに５位争いも、柏ボーイングと新松戸リトルベァーズが１勝４敗の同成績となったが、対戦で勝利している柏ボーイングが上位となった。

これら下位チームの試合は最後まで激戦を展開して盛り上がった。

◆Ｊブロック

全ブロックリーグ戦の中で最も激戦を展開した。終盤まで各チームが熾烈な星の潰しあいを演じて、順位争いはかなり縺れた。混戦の主役となったのはカージナルスで、終盤まで２勝１敗１引分けの成績で、数字の上では残り試合の結果（勝利）次第では２位の可能性もあったが、最終戦でこれまた決勝大会進出を賭けた南部ルーキーズに敗れての脱落は、結果的にはリーグ戦に旋風を巻き起こしただけに終わった。

最終的には４勝１敗の同成績で決勝大会進出権を獲得したリトルイーグルスと南部ルーキーズだが、この２チームの順位は対戦で勝利しているリトルイーグルスが上位で首位、敗れた南部ルーキーズが２位となった。

３位以下も大混戦で、首位のリトルイーグルスに勝ったカージナルスは、柏ドリームスと引分け、高塚新田ラークスには敗れたものの、最終戦の南部ルーキーズ戦に望みを賭けたが敗れて脱落した。

この結果、カージナルスは２勝２敗１引分の成績で柏ドリームスと同成績となったが、直接対決では引き分けていただけに、順位は得失点差での勝負となって辛くも上位（３位）となった。

◆Kブロック

このブロックから５チーム編成も、上位４チームで激戦を展開して首位決定は終盤まで縺れた。最終的に上位２チームは野田ジャガーズとビクトリージャガーズが３勝１敗の同成績で並んで確保したが、順位は直接対決で勝っている野田ジャガースが上位で首位、ビクトリージャガーズが２位となった。

なお、首位となった野田ジャガーズの１敗は、下位のありんこアントスに敗れたものだが、ビクトリージャガーズに勝ったことで、同チームとは同成績ながら首位となった。この２チームの実力はほぼ互角と見られる。

上位２チーム敗れて２勝２敗となった小金原ビクトリーと、首位の野田ジャガーズには勝ちながら、小金原ビクトリーとビクトリージャガーズに敗れて２勝２敗となったありんこアントスも、２勝２敗で同成績となったが、こちらも対戦勝者の小金原ビクトリーが上位（３位）となった。

◆Lブロック

このブロックも大激戦で、順位が決まったのはKブロックと全く同様のパターンで、セントラルパークスと八木南クラブがともに３勝２敗の同成績で決勝大会への進出権を獲得した。

八木南クラブとの直接対決で勝って首位となったセントラルパークスが、下位の沼南フラワーズに負けながら、２位となった八木南クラブに勝って首位となったパターンはKブロックと全く同じだった。

さらに３位争いも、スーパーフェニックスと首位のセントラルパークスに勝った沼南フラワーズが、２勝３敗の同成績で、順位は直接対決で勝利したスーパーフェニックスが上位となったのも、Kブロックと全く同じパターンだったのは非常に珍しいース。

☆リーグ戦ベスト記録３　（注）（　）内の記号はブロック

総得点

①(D)大橋みどりファイターズ　７８点　②(F)南流ファィターズ　６９点

③(D)千代田ファイターズ　６７点

総失点

①(E)豊上ジュニアーズA　、(C)三郷スターズ　各３点　③(C)高柳サンダース６点

得失点差

①(D)大橋みどりファイタース　６９点　②(E)豊上ジュニア-ーズ　６２点

③(D)千代田ファイターズ　５４点



新聞掲載記事

21世紀を担う子どもたちのふるさとづくりと時代を創造するタウン情報紙

朝日れすか PLUS

2026年 4月号

れ レジャー LEISURE　す スポーツ SPORT　か カルチャー CULTURE

ASA子どもスポーツ新聞 スポーツキッズ

No.471　2026年（令和8年）3月20日号 毎月20日にASAからお届け

発行／朝日れすか編集室 協力／千葉北部朝日会 https://www.resuka.co.jp/ 朝日れすか

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F［TEL］04(7143)4021［FAX］04(7143)3453

■130,000部発行 ■配布地域／松戸市・柏市・流山市・野田市・我孫子市・印西市・鎌ケ谷市・白井市・市川市、習志野市一部

朝日新聞サッカースクール
柏で小学生132人参加
元日本代表中澤さん指導



スポーツKIDS ピックアップ！

5面

野球　カリフ・マルエス旗大会

野菊野・八柱が逆転V

第45回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会（5年生以下）の決勝が2月22日、野田市の江戸川河川敷運動広場であり、野菊野ファイターズ・八柱サンジュニアーズ（松戸市、以下連合）が南部ルーキーズ（野田市）を四回に逆転、6―5で下して優勝した。3位は三郷スターズだった。

大会には東葛地域を中心に70チームが参加した。新シーズンに向けた代表チームづくりの試金石ともなる重要な大会だ。

決勝は、ホームランが2本出るなど点の取り合いとなった。3点差を追う連合は四回、先頭の板倉大和がいきなり右翼へ本塁打。「いつも通りのフルスイングができ、本塁打になったのでうれしい」。連合はここから猛攻を仕掛け、この回に4点を奪い逆転に成功。五回に同点に追いつかれたが、その裏に再度加点。最終回は投手・杉浦廉心が南部打線を3人で抑え、勝利を手にした。

南部は初回、1死二塁で堀湊が右翼へ特大の2点本塁打。両ベンチがどよめき、会場を沸き立たせ、決勝の舞台を盛り上げた。南部は四回に逆転されたものの五回に一時追いつき、最後まで諦めずに戦った。

今年に入って連合チームを結成した熊谷聡監督は「勝ち切った経験は選手たちの自信になり、次の大会につながる」と選手を労った。主将の杉浦は「1回戦も大変だったが、決勝で勝てて自信になった」と話していた。

南部ルーキーズ		
野菊野・八柱連合		
0	2	
1	1	
0	0	
4	1	
1	1	
X	0	
6	5	



優勝した野菊野・八柱連合チーム＝野田市



四回に本塁打を打った連合の板倉大和

※朝日れすか No.471号 2026年（令和8年）3月20日号掲載

第45回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム

◆柏地区（２３）

光ケ丘シャークス
増尾レッドスターズ
豊四季イーグルス・
四小地区少年野球クラブ合同
ビクトリージャガーズ
沼南ファイヤーズ
柏ボーイング
松葉ニューセラミックス
豊上ジュニアーズＡ
豊上ジュニアースＢ
柏ヤンガース
沼南フラワーズ
高柳サンダース
若草
柏南ギャランツ
千代田ファイターズ
酒井根東グリーンズ
大船コンドルズ
柏ドリームス
柏ドリームスＡ
新柏ツインズ
スーパーフェニックス
北柏スーパーナイン
加賀シャトルズ

◆流山地区（１８）

江戸川台フェニックス
長崎ＦＬＢ
初石クーガーズ
流山ホークスＡ
流山ホークスＢ
鰭ヶ崎ジュニァフインズ
東深井ボーイズ
前ヶ崎クラブ
向小金ファイターズ
加岸ベアーズ
流山シャークス
ありんこアントス
八木南クラブ
カージナルス
小田急ライオンズ
流山マリーンズ
南流ファイターズ
ＧＢＣ流山

◆野田地区（７）

南部ルーキーズ
野田ドンキーズ
野田ブレーブス中地
中根ヤンキース
清水タイガース
野田ジャガーズ
柳沢ロッキーズ

◆松戸地区（１２）

常盤平ボーイズ
高塚新田ラークス
五香メッツ
矢切コンドルズ
新松戸リトルベァーズ
根木内ヤングスターズ
大橋みどりファイターズ
松戸ＫＳカージナルス
小金原ビクトリー
セントラルパークス
牧の原ジュニァーズ
野菊野ファイターズ・
八柱サンジュニァーズ連合

◆三郷地区（４）

みさと団地ライオンズ
三郷ヤンガース
新和ヴィクトリー
三郷スターズ

◆我孫子地区（５）

新木野コンドル
リトルイーグルス
白山クラブ
ブラックバード
リトルキング

◆市川地区（１）

平川レッドスターズ



カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	昭和57年 1982	15	リアノス（柏）	伊勢原ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ（流山）	伊勢原ジャガーズ（柏）	リアノス（柏）
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	江戸川台アトラス（流山）
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス（柏）	ありんこアントス（流山）	つくしが丘ファイブス（柏）
5	昭和61年 1986	36	リアノス（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	加岸クラブ（流山）
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ（柏）	向小金ファイターズ（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	名戸ヶ谷ウォリアーズ（柏）
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス（柏）	西山イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	光団ファイターズ（柏）
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス（流山）	増尾レッドスターズ（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	トライスター（柏）
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス（柏）	泉ライオンズ（流山）	ありんこアントス（流山）
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（野田）
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（柏）	トライスター（柏）
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ（柏）	清水タイガース（野田）	八景台ジュニアーズ（松戸）
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	向小金ファイターズ（流山）
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	前ヶ崎クラブ（流山）
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	セントラルパークス（松戸）
22	平成15年 2003	61	長崎FLB（流山）	大津が丘ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	久寺家エラーズ（我孫子）
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ（流山）	東深井ファイナルズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加賀シャトルズ（柏）
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ（松戸）	松葉ニューセラミックス（柏）	柏ビクトリー（柏）
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ（野田）	セントラルパークス（松戸）	串崎スワローズ（松戸）
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏） 常盤平ボーイズ（柏）
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	豊上ジュニアーズ（柏） 流山ホークス（流山）

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ　(柏)	カージナルス　(流山)	江戸川台フェニックス(流山)
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ　(柏)	豊上ジュニアーズ　(柏)	セントラルパークス　(松戸)
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。		
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ　(流山)	カージナルス　(流山)	柏ドリームス　(柏)
35	平成28年 2016	71	松戸スラッガーズ　(松戸)	野菊野ファイターズ　(松戸)	三郷スターズ　(三郷)
36	平成29年 2017	64	リトルジャガーズ　(我孫子)	南部ルーキーズ　(野田)	長崎FLB　(流山)
37	平成30年 2018	69	セントラルパークス　(松戸)	豊上ジュニアーズ　(柏)	松葉ニューセラミックス　(柏)
38	令和元年(平成31年) 2019	67	豊上ジュニアーズ　(柏)	流山ホークス　(流山)	常盤平ボーイズ　(柏)
39	令和2年 2020	68	豊上ジュニアーズ　(柏)	リトルイーグルス　(我孫子)	野菊野ファイターズ　(松戸)
40	令和3年 2021	66	豊上ジュニアーズ　(柏)	豊上ジュニアーズB　(柏)	東深井ボーイズ　(流山)
41	令和4年 2022	63	※決勝大会は行われず、ブロック首位チームが優勝扱い。		
42	令和5年 2023	66	豊上ジュニアーズA　(柏)	常盤平ボーイズ　(松戸)	八木南クラブ　(流山)
43	令和6年 2024	67	豊上ジュニアーズA　(柏)	常盤平ボーイズ　(松戸)	高柳サンダース　(柏)
44	令和7年 2025	68	豊上ジュニアーズA　(柏)	東深井ボーイズ　(流山)	前ヶ崎クラブ　(流山)
45	令和8年 2026	70	野菊野・八柱連合　(松戸)	南部ルーキーズ　(野田)	三郷スターズ　(三郷)

(注)第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績



カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　開催要項

（令和5年一部改正）

主催・主管　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会
共　　催　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
後　　援　株式会社カリフ・柏食品株式会社　　マルエス株式会社
株式会社共同写真企画　　流山クラブボーイズ

開催期間　ブロックリーグ戦
原則として抽選会以降の１０月から翌年1月中旬頃までに終了させる。
決勝トーナメント大会
翌年１月下旬から２月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

開催方法
・出場資格は５年生以下の新チームとする。
・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当りのリーグ戦によって上位２チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、１ブロックの構成は５～８チームをベースとする。
・試合方法は全試合６回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味１時間３０分。シートノックは５分以内とする。
・試合の終了は、３アウト目が主審の時計で１分を切っている場合は試合終了。１分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、６回までとする。
・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て６回または時間制。６回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦をふくむ全試合にコールドゲーム（４回以降７点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って３名）を適用する。
なお、特別ルールの回数は8回までとし、それでも勝負がつかない場合は、抽選によって勝敗を決める。
・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、６回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。６回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする。
・投手の一試合での投球数を一試合70球までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。
・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準　リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。
但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は３チームの中では最下位となる。
なお、リーグ戦の成績は平成２５年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０点とする。

日程編成　リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。
負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は０－１５）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。
当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。

ブロック長　ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは０－１５）とみなして勧告し、その行為を２回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。
ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。
決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（１名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき５００円の食事代が支給されます。
決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。

大会参加費　１チーム　５，０００円（抽選会の時に会計に納入して下さい）

記　　録　事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。
当該ブロックの試合結果は勝利チームがブロック長に報告し、ブロック長はその結果をとりまとめて、速やかに下記の方法で事務局まで報告すること。

東葛親睦少年野球大会　試合結果報告
http://toukatsuareaboysbaseball.info/

参加チーム　抽選会（毎年１０月中旬から１１月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開会式　決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてＡＭ９：００も、出場チームはＡＭ８：３０までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

付記事項

①選手及び指導者（監督及びコーチ２名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は５名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は１０番、監督は３０番、コーチは２８番と２９番とする。

②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。

③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。

⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。

⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。

⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。

⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　役員

令和4年12月改選

会長	松崎太洋	株式会社カリフ代表取締役社長
副会長	堀江速人	野田市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長兼務		
事業部長	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
会計兼務		
運営委員	松本秀樹	流山・江戸川台フェニックス
運営副委員長兼務		
運営委員	八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員	亀田成美	流山・流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員	池田進一	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏市少年野球連盟役員
運営委員	上村茂樹	柏市少年野球連盟役員
運営委員	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田市少年野球連盟役員
運営委員	相原次郎	野田市少年野球連盟役員
運営委員	我妻和憲	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
顧問	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長



第４５回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

◆収入の部		合計 ￥ 533,781
大会参加費	@5,000×70チーム	￥ 350,000
寄付金（カリフ食品より）		¥50,000
前大会繰越金		￥ 133,781

◆支出の部	合計 ¥365,079
決勝トーナメント用ボール代	¥50,000
審判手当	¥24,000
賞状代	¥20,000
トロフィー代	¥76,852
編集代	￥ 5,000
冊子データ作成費	¥80,000
冊子プリント代	¥30,000
ブロック分け抽選会	￥ 2,510
決勝トーナメント抽選会	￥ 2,510
資料印刷代	¥20,000
打合せ会議費（ブロック）	¥12,595
打合せ会議費（決勝トーナメント）	￥ 9,097
簡易テーブル代ほか	¥32,515

収入 ¥533,781円－支出 ¥365,079円＝収支合計　¥168,702円は第46回大会に繰り越します。

会計担当　小泉博康



memo

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

TEL&FAX
04-7197-0115
緊急連絡先
070-5464-4481

選手の皆様、ご出場おめでとうございます

CONTRIBUTE

Character goods Producing Company
for the All Supporters

NO SPORTS NO LIFE

お客様の「思い出」を《かたち》に

大会記念品、オリジナルグッズのご要望は...

●大会記念オーダーシート送り先
FAX:　03−5247−1998
MAIL:　info-cnbt@sweet.ocn.ne.jp
〒132-0035　東京都江戸川区平井6-57-3-1F
株式会社コントリビュート　TEL:03-6675-2505

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州